

スーパーカブは誕生以来、基本デザインを大きく変えることなく半世紀にわたり、非常に多くのお客様に愛され続けているモデルです。スーパーカブ 110 のデザインを考えるにあたり、その形を持つ『本質』を探ることからスタートし、時代に合わせ進化した新しいスーパーカブの形として、このデザインを作り上げました。

『本質』＝機能と形の融合

スーパーカブは、初代の開発時より、便利に使っていただけるだけではなく、人に優しく、機能美にあふれていることを考慮し設計されています。その為、車体サイズ、乗車ポジション、その他の機能部品などが外観デザインと非常に密接な関わりを持っています。開発に際し、「より便利に、快適に使っていただくための機能の進化と、人に優しくシンプルなデザインとの融合」つまり、スーパーカブ本来のイメージと新しさの表現をテーマに検討を進めました。

レッグシールドからリアフェンダーへつながる『S』字形状は、低重心と乗降性を両立させたフレームレイアウトから来るスーパーカブの大きな機能的特徴ですが、部品の配置を詳細に見直し、内部のスペースを有効に活用することで、従来モデルのサイドカバーが不要となり、ボディーサイドには引っかけの無い非常にスムーズなデザインを実現しました。これにより『S』字形状の特徴をさらに強調しています。また、フロント回りのデザインでも、大型化された新形状マルチフレクター

ヘッドライトと、その両脇の新しい丸型レンズ形状のウィンカーを水平にレイアウトし、垂直方向へ伸びるトップカバーとフェンダーによる整理された機能的な部品構成とともに、凛とした姿勢を表現しています。

新しいスーパーカブのデザインは、装飾的な新しさを求めることなく、機能美をしっかりと磨き上げ作り込まれています。

